

全損保号外

契約係のみんな、結果はでた。説明はいらんはずだ。

これから本当の意味で交渉の場が大事になる。的確な情勢認識をみんなで考えよう。
あきらめるのではなく、一緒に切り開いていこう。

契約係のみなさんへ、一人ひとりでは弱いです。分会は一緒に共感

できる仲間を待っています。

10.7 たった 5 枚の紙切れ

10/7 旧東海経営らしい文句の言えぬやり方で、レターでお知らせがあった。予測はできていたものの職場の混乱は否めなかった。その内容たるものがまた体を重くするものであった。予期していた者、意味のわからない者様々であった。

たった 5 枚の文章に目を落とすと、まず発展的解消とは、どこかのバンドグループの解散かとおもうくらい笑わず言い方であった。家に帰って、妻も通知を読んで「社員としてくびになるので代理店になってくださいということねえ。何か悪いことでもしたの」そう思うってしまうのも仕方ないことである。今はやりで言う業務改善、業務指導、懲戒解雇と変わらん。これも契約係に対する処分ですな。

次に転進制度？言葉は美辞麗句ばかりで内容は地獄そのもの。転進のための資金も、私たちの大切なお金を持ち逃げした組合財産のファンドと年齢構成比において統計学的数字で転進金を割り出し残ファンドは 50 歳以下にふっとけ。みたいなかんじである。何回も繰り返しよぎる分裂時の言葉。まじめにやってきたものほど憤りが隠せず「雇用は守る？声をあげよう？一募集網では整理させない？」あの旧「どぶいた」で、「ひとつの組合になるための新労組設立委員会の呼びかけ」はなんだったのか。

こうなったのはだれの責任だ。憤懣はこれから増幅していくことだろう。当時私たちが負った傷なんかより数万倍の痛手であろう。しかし、この場に来てもしまだに「全損保に残っていても一緒だったしな」現実逃避というか、放心状態なのか、昔の大本営発表の「日本ニュース」みたいで滑稽である。これから沈みだす船を逃げ惑うこととなりそうだ。私たちが今までの闘いから学んだ結果、全損保に残留したのだから。多数に巻かれた人たちも今から自分ひとりで考えなければならなくなってしまう。

まちがいがなかった論議と危機の予知

「お知らせする。通知する。」制度提案とは裏腹に、「会社が決めたことだけいうことを聞け。憲法云々会社がルールだ。」本当の姿はこれだったのです。この一年かけて私たちの首の切り方を理由付け、濡れ衣を全員にかぶせるためのタイムテーブルに沿ったメイクドラマであったのです。ただ誤算だったのはまさか全損保に10パーセント以上の人間が残ってしまったこと。1年あればコンプライアンスでこの組織をつぶすまでにはいかないが弱体化はできると考えたのでしょう。だから組合承認、申告シート、行動管理シートという具は、嫌気を誘い自らやめていくための手立てだったのでしょう。

私たちが全損保に残る決断をしたのは、このことを予測して最後に土俵際に追い詰められてもみんなて団結と力を結集し戦いを構える時がくると思ったからです。東海支部の方が何度も、会社は「どうぞお引取りください」という考えだから闘わなければならない、といった言葉はまさにたたかったものだけが知りうる経験と辛さと手法と怖さを持ちえたのでしょう。

旧役員がいなくなり一気に加速

旧日勤役員が去ると、「RAは経営リスクに直結している」の発言。この4月10日以降異常なまでの冷たさを職場で感じたことでしょう。何かがこの時期を境にあり、内勤職場においてはある退職していく方の手記が反響を呼び、「この会社は個人でなく孤独にさせる」といった風潮が読み取れます。旧日勤については一人残らず内外問わず、人・物さえも、二束三文で切り捨てていくことに一層拍車がかかるかと思われまます。

人より利益最優先

これからも業界のリーディングカンパニーとは純潔だけ大事にすることでステータスはたもたれるわけです。やはり私たちの結末はあすなるの木のごとく、ずっと会社政策に沿って営業し、9時出社して、PDSIシート書いて、明日には東京海上日勤の社員になれると夢見た1年でしかなかった。

でもこの仕事が好きだから

しかし、私たちは、社員として組合として主張します。外に向けて声を大きくしていきたいと思います。まず、他労組へいった仲間、今まさに団結しましょう。条件闘争などあるわけがない。転進金はもとは自分たちのお金だ。退職金まがいの示談金まがいの数字をはじく。社員として、労働と生活を守る闘いを続ける。

全損保日勤外勤支部は

「制度廃止を認めず、労働と生活を守る」ことを方針に、これからのたたかいをすすめていきます。

支部、分会、組合員、が一体となり、全損保本部を通じて、他産業、同じ産業で働くものと共にたたかうこととします。

私たち大阪分会はこう考えています。

一緒に共感できる仲間を求めます。わたしたちは個人加盟の組織ですから正確な情勢認識とあらゆることに仲間が集い論議し、展望の開ける場を求めています。

朝日のたたかいについても不当な経営に対し 27 年間闘いようやく先日全面勝利しました。全国大会で全損保の運動方針の軸に日勤外勤の仲間のたたかいが基軸にされています。どんなことでも一度相談してください。一人は弱いですから。正確な情報と社内だけでない仲間がいます。あきらめない足腰を据えた闘いを構築していきます。

これからの試練は計り知れませんが、仕事だけはしっかりと清々といたしましょう。無謀邪気にならぬよう、また職場が荒れないよう心がけ、自己管理、自己証明を自ら怠らないように努めましょう。

編集後記

こんな号外を出したくなかった。今までした論議が外れていてほしかった。しかし私たちすべてがいないということは確かだった。

(^^うわっ

全損保日勤外勤支部大阪分会